

第1回「三世代をつなぐ 駒カフェ」2021/5/29 開催の報告

2021年5月29日(土) 13時30分～15時30分、第1会議室において、在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト 第1回「三世代をつなぐ 駒カフェ」が開催された。開催日が、新型コロナ対応による体育祭の日程変更の関係で、当初の中間試験最終日から体育祭準備日となったので、体育祭モードの生徒たちが何人参加してくれるだろうかという不安を抱えての開催となった。

参加者 2名(中1:1名、高2:1名)

他に第1会議室に来室してOBスタッフと話をした中1生が7名

参加者の感想

- ① 実際のOBの方々や、前校長などから経験を踏まえて様々なことを学ぶことができた。これからの学校生活へ活かしていきたい。親しみ深く話せて良かった。
- ② 遺伝子の分野について話し合ったが、遺伝子は全生物の根幹になっているものなので、他の学問にも大きく関りがあるかもしれないということを知らされた。
- ③ 駒カフェのことは知らなかったです。



OBスタッフの感想

- ① 参加者がゼロでなくてよかった。第1会議室前を通って下校する生徒たちにスタッフOBが声をかけることで、「駒カフェ」の存在を知ってもらえるようになってきたのではないかと。
- ② 楽しい有意義なカフェでした。重大なご連絡です。〇〇ちゃん、生徒さんから、メールをいただきました。お金で買えない、財産です。
「今日お話をさせて頂いた〇〇です。今日はとても興味深いお話をありがとうございました。」
- ③ とても新鮮な経験をさせていただき、たいへんありがとうございました。
- ④ 呼び込み的に、何人かの駒東生に「60年後の自分をイメージしたことはありますか」とか「60年後の自分のイメージを作る参考に卒業生と気楽に話してみませんか」とか訴えてみました。素通りしてしまう生徒もいましたが、足をとめてくれた駒東生は、はじめやや驚いたような表情でしたが、60年後の自分を少し受け止めた後は、かなり眼を輝かせて、そんな問いもあるのか、という感じでした。当日は、予定があって参加できないが、駒カフェには多少とも関心をもってくれた印象でした。今後、定期的開催され、HPにも掲載される旨、アピールしておきました。
- ⑤ 私たちの時代は「資源のない日本では、頭脳の資源化こそが急務である」といった共通認識のもとで、「一致団結みんなががんばろう」といった風潮でした。しかし、今現在は、人生100年時代となり、

社会全体がかなり混沌とした状況にあると思います。こうした世界を、一人ひとりの駒東生が自分なりの視座をもって周囲に流されることなく人生をスタートする上で、「三世代をつなぐ駒カフェ」が多少とも支援になれば有意義なものになると感じました。

- ⑥ 個人的には、中1の〇〇さんのように、あらかじめどういう問題について話したいのかといった問題提起をしてもらうのはよいように感じました。それをベースにいろいろ発展的に話し合うヒントにもなるように思います。話題が限定されてしまう可能性もありますが。
- ⑦ 今回は、ほとんど1対1での対応だったと思いますが、今後、参加者が増えて行った場合、OB2対nとか、グループ分けとか、検討すべき課題だと感じました。
- ⑧ 保護者世代との件ですが、保護者世代は、現実社会で荒波にもまれていて、目先の価値観に影響される可能性が高いと思います。現役を退いた立場として、もう少し冷静に広い視点で、いろいろ話し合えば、それはそれでおもしろいように思います。この辺は、人それぞれで異なり、噛み合うのがむずかしい面もあるかもしれません。
- ⑨ 「第1回駒カフェ」終わりました。私はこれという働きをしなかったのに疲れました。黒岩さんと二子玉川までの車内の立ち話に慰められました。
- ⑩ 高2の〇〇君と角本さん 中1の〇〇君と眞木さんの様子を遠目で見ても 良かったなという実感を持ちました。
- ⑪ 生徒たちの真剣で興味満々の目つき 角本さんの斜に座って嬉しそうに喋る顔つき 眞木さんの優し気に丁寧に語る様子……
- ⑫ 話の内容は聞こえませんが良い雰囲気です 黒岩さんの言う“成功”の意味を理解しました。二人の生徒を核にして広がっていくのを願っています。
- ⑬ 平野さん あのポスターのデザイン可愛くて好きです。会のムードの象徴です。様々な事務対応ありがとうございます。平野さんの感性と熱意 いい意味での頑固さがこの会を引っ張ってくれます。
- ⑭ 深瀬さん呼び込み大変でしたね。「60年後の君を見せましょう」というキャッツフレーズ面白いです。
- ⑮ 私も呼び込みで苦労しましたが 5～6人中1にペットボトルを餌にして次回の参加を約して名前を書いてもらいました。会が近づいたら担任の先生経由でお誘いのカードを渡そうと思います。
- ⑯ 卒業生のお母さまで生物実験室の助手をされている方（お名前？）がポスター特に2匹の毒蛇の話ほめてくれました。また会そのものに興味を示されました。ありがたいことです。
- ⑰ 黒岩くん（さん）上から目線で院生の頃のこと思い出させて 良くないよ。まあ駒東の頃 「ガールフレンド？がいたこと」が貴君に対しての唯一の優越感かな？ 黒岩さんのおかげでありがたい経験ができています。



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局
代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生 / 前スクールカウンセラー）
平野 勲（駒場東邦中学高等学校 特別顧問 / 前校長）

連絡先 komacafe1540001@gmail.com